

東館南集会所

〒329-0611
上三川町大字上三川1223-1
☎56 8506

8月の集会所開故事業「紙粘土細工教室」

紙粘土でブローチを作ります。

- ▶ 期日=8月22日(日) 午前10時~正午 ▶ 場所=東館南集会所
- ▶ 講師=小川 礼子さん ▶ 材料費=200円
- ▶ 定員=5名(先着順) ▶ 申し込み期間=8月4日(水)~18日(水)

▶ 問い合わせ先=生涯学習課 生涯学習係 ☎56 9159

8月の共同学習会「認知症の理解と支援」

認知症の人への支援の方法や地域包括支援センターが行う支援事業について学びます。

- ▶ 期日=8月27日(金) 午前10時~正午
- ▶ 場所=東館南集会所 会議室
- ▶ 講師=上三川町地域包括支援センター 菊地 則克さん
- ▶ 定員=16名(先着順)
- ▶ 申し込み期間=8月4日(水)~25日(水)



▶ 問い合わせ先=生涯学習課 生涯学習係 ☎56 9159

「現代の人権 災害時のデマに注意しましょう」

現代人にとって、携帯電話やスマートフォンを使つてのメールや情報収集は日常のことになりました。さらに、地震や台風の際には災害情報の収集や安否確認、救援要請にと通信手段の確保は必須といえます。一方、メールやLINE、ツイッターなどのSNS上では実際に起っていないことや面白半分で投稿したウソの情報などのいわゆる「デマ」が広がる可能性があります。

平成28年の熊本地震では「動物園からライオンが逃げた」というデマが広がり、動物園の職員が問い合わせへの対応に追われたという事件がありました。デマの投稿者は後日、偽計業務妨害の疑いで逮捕されました。

平成23年の東日本大震災では、千葉県で発生した石油コンビナート火災に関して「有害物質が雨といっしょに降ってくる」という情報が出回りました。また「被災地で外国人犯罪が横行している」というデマに対し、仙台市民の8割が信じたという調査結果もあります。

災害発生時には、誰もが不安になり、身を守るために少しでも役に立ちそうな情報を得ようとします。そして「役に立ちそうな情報」を見つけると友人や知人にも伝えようとします。それを見越して、面白半分にデマを流すような人も存在します。情報の発信が簡単にできる現代社会ではデマや誤った情報も短時間で拡散します。その結果、本当に必要な救助や支援を妨げる要因にもなりかねません。根拠の疑わしい情報に対しては、まず情報の真偽を確かめることが大切です。

▶ 問い合わせ先=生涯学習課 生涯学習係 ☎56 9159